

樹脂材料の塗料化開発パートナー募集

概要

本募集テーマでは、東京電力グループが保有する樹脂材料の塗料化開発パートナーを募集する。(※提案者の保有する技術やノウハウを用いて実施可能なものに限らせていただきます)

応募の締め切りは 2018 年 3 月 8 日。

【募集の背景・課題】

東京電力グループは現在、年間 1000 本以上の送電鉄塔や火力発電所煙突などのメンテナンスを行っているが、設備維持に係る生産性向上が喫緊の課題となっている。東京電力グループは自己修復機能を持つ樹脂材料技術を保有しており、本材料を塗装用原料として応用し、メンテナンス頻度を下げること、生産性向上を図りたい。

【募集ニーズ】

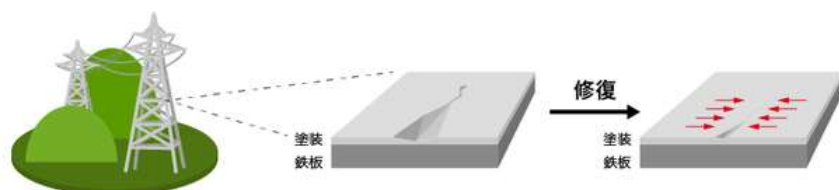
東京電力グループが開発した自己修復樹脂材料の塗料化開発パートナーを募集する。樹脂材料の提供形態・特性はある程度調整可能であるため、少量の樹脂材料によるサンプルテスト・試作検討を通して、開発の相談にのっていただけるパートナーが望ましい。

<開発パートナーに求める要件>

- ・樹脂材料の塗料化開発が可能であること
- ・20g 程度の少量の樹脂でのサンプル試験に応じて頂けること(試験費用はご相談の上、東京電力より支払い予定)
- ・量産対応可否については問わない

【仕様・構成】

- ・高分子材料を可逆的な反応により架橋させると、物理的衝撃や劣化等により分子鎖が切断しても再結合する自己修復機能を付与することが可能である。
- ・本プロジェクトでは、このような高分子材料を、各種設備の塗装用の原料として応用することで、塗装の補修回数の削減によるコストダウン等を実現することを目指す。



自己修復樹脂材料のイメージ図

<自己修復樹脂材料の詳細>

- ・可逆的な架橋反応が可能な樹脂材料
 - ▷ 樹脂骨格: アクリルアミドとブチルアクリレートの共重合体
 - ▷ 自己修復基: カテコール基
- ・以下の溶媒のいずれかに溶けた状態で提供
 - ▷ 溶媒: 酢酸ブチルまたはクロロホルム
- ・適用先
 - ▷ 鉄塔用塗料、火力煙突塗装、など

【想定される提携形態】

技術ライセンス、部材の受託開発・供給

【開発スケジュール】

1. 塗料化の試作検討: 3ヶ月～6ヶ月程度
2. 塗料製品化: 試作検討結果で判断

【応募期限】

2018 年 3 月 8 日

※応募期間・内容は予告なく変更する可能性があります。

※ご提案いただいた後、上記の期間中に、追加でご質問をさせていただく場合がございます。

ご了承ください。